

令和２年度第２回総合教育会議・会議録（要旨）

- 1 開 会 令和３年２月８日（月曜日） １５時３０分
- 2 閉 会 令和３年２月８日（月曜日） １６時１５分
- 3 場 所 様似町中央公民館 小ホール
- 4 説明及び意見交換
○説 明 第２次様似町教育大綱の策定について【第２回目】
- 5 出 席 委 員 坂下町長、荒木教育長、佐々木委員、池田委員、櫻庭委員、能登委員
- 6 事務局出席者 木下副町長、原田総務課長、久保田総務課課長補佐、秋山生涯学習課長
越後生涯学習課課長補佐、児玉生涯学習課主幹、東生涯学習課総務係長
- 7 会議を傍聴した者 なし
- 8 議 事 の 経 過 別紙のとおり

【開 会】

- 秋山生涯学習課長 令和2年度第2回様似町総合教育会議を始めさせていただきます。なお、川口生涯学習課参事は、本日不在のため、社会教育担当の児玉主幹に代理出席させていただきますのでご報告させていただきます。

最初に坂下町長からご挨拶をいただきます。

【町長あいさつ】

- 坂下町長 教育委員の皆さまご苦労様です。1月22日に1回目の総合教育会議を開催させていただきました。その中で委員の皆さんから出されたご意見などを基にして、修正のご協議をいただき、教育大綱をまとめてまいりたいと思います。今日はよろしく願いいたします。

【進 行】

- 秋山生涯学習課長 説明及び意見交換に入りますが、本総合教育会議の議長は、町長にお願いすることになっておりますので、よろしくお願いいたします。
- 坂下町長 資料として教育大綱改定案と新旧対照表をご提示しておりますのでこれらの説明と改訂のポイントなどを事務局から説明させます。

第2次様似町教育大綱の策定について【第2回目】

○東生涯学習課総務係長

今回の改訂案につきましては、前回の総合教育会議において、委員の皆さまからいただいたご意見ご要望等を踏まえて、ご提示させていただきます。また、事務局で再度見直しを図った内容を提示したいと思います。

■様似町総合計画と様似町教育大綱の位置付け 教育大綱の基本方針については、7つの教育施策の柱ということで、前回ご提示しておりましたが、第9次様似町総合計画との整合性を図るため、新たなに「社会教育の推進」を加え、8つの教育施策の柱で構成したいと考えております。また、前回の総合教育会議において、ご提示した内容を改訂した部分を新旧対照表にまとめましたので、ご説明させていただきます。

■基本方針（基本理念の実現のために取り組む教育施策の柱）

1. 子育て支援と幼児教育の推進 改訂なし
2. 学校教育の推進

ア. 小中一貫教育を通した確かな学力の向上

【現行】めざす子ども像を共有し、小・中学校9年間、一貫した教育を推進する。

【改訂案】小中の全教職員で児童生徒を育む視点を常に共有し、9年間でめざす子ども像である「コミュニケーション能力」と「プレゼンテーション能力」を育成する。

▼改訂のポイント～「めざす子ども像」を具体的に分かりやすい文章で表記した。

【現行】小中一貫教育にふさわしい適切な運営体制の充実を図る。

【改訂案】小中一貫教育にふさわしい適切な運営指導体制の充実を図るために、教職員個々の「資質」「能力」「意欲」の向上に努める。

▼改訂のポイント～小中一貫教育のこれまでの取組みの中で、現状と課題を踏まえた文章内容とした。

イ. G I G Aスクール構想に対応した教育の充実

【現行】G I G Aスクール構想では、インターネットのセキュリティ管理も課題であることから、その適切な対策を推進する。

【改訂案】G I G Aスクール構想では、インターネットのセキュリティ管理も課題であり、その適切な対策を推進する。

▼改訂のポイント～文章表現の変更。

ウ. コミュニティ・スクールを活用した学校運営

【現行】なし

【改訂案】学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組みについて、町民に広く理解を求めるためのより良い、周知方法を検討する。

▼改訂のポイント～項目を新たに追加。コミュニティ・スクールの取組みが町民に浸透していない面があり、その意図により文章を追加した。

3. 社会教育の推進

○少年教育～ふるさとに誇りを持ち、郷土愛を高められるよう、様似の特色を生かした事業を推進する。

○成人教育～町民のニーズに応える各種の「生涯学習講座」を推進する。また、社会教育団体（青年・女性）の活動がまちの活性化につながるよう引き続き支援する。

○高齢者教育～「生きがいくくり」につながる各種事業を推進する。

○様似町における文化財の保存と活用を総合的に進めるため「文化財保存活用地域計画」の策定を検討する。

○様似町の文化財が広く町民に親しまれ後世に伝えられるよう、社会教育事業や学校教育での活用を推進する

○「様似山道」の価値を維持し、次世代への継承を図るため「保存活用計画」の策定を検討する。

○図書館は、潜在的な町民の掘り起こしを図るため、従来の来館型サービスと並行して、乳幼児・障がい者・高齢者などに寄り添ったサービスを推進する。

○学校連携図書システム・ネットワーク機能を生かした学校図書館との連携を一層強化し、児童生徒の読書活動を推進する。

▼新設のポイント～第9次様似町総合計画・基本計画との整合性を図るため新たに掲載した。

4. グローバル社会に対応した人づくり

【現行】グローバル化に対応した幼児教育、学校教育を一層推進するため外国語指導助手（A L T）や国際交流員（C I R）の有効活用を図り、連続性のある学習環境を構築する。

【改訂案】グローバル化に対応した幼児教育、学校教育を一層推進するため外国語指導助手（A L T）や国際交流員（C I R）などの有効活用を図り、**子どもたちの英語力を高めるための学習環境を構築する。**

▼改訂のポイント～外国語指導助手（A L T）や国際交流員（C I R）以外の活用も視野に入れる。また、連続性のある…とは、幼小中の連携を意図しているが、総体的かつ具体的な表現とする。

【改訂案】ユネスコ世界ジオパークの各種大会等への派遣を検討し、グローバル社会に対応できる子どもたちを育成する。また、別の視点での交流等も検討する。

▼改訂のポイント～項目を新たに追加。ジオパーク世界大会等への子どもたち派遣と学校単位による英語圏の地域との交流等を検討する文章内容とした。

5. 教育施設の整備・充実

【現行】郷土館の維持管理、展示の改善や情報発信に努め、老朽化が著しい現施設の移転・改築に向けて検討する。

【改訂案】郷土館の維持管理、展示の改善や情報発信に努めるとともに、老朽化が著しい現施設の移転・改築に向けて検討する。

▼改訂のポイント～文字の追加。

【現行】図書館の「読書センター」「情報センター」としての役割を認識し、蔵書構成を充実し、町民のニーズに応える事業を推進する。

【改訂案】図書館の「読書センター」「情報センター」としての役割を認識し、**町民のニーズに応える蔵書構成の充実を図る。**

▼改訂のポイント～分かりやすくするために文章の並べ替えをする。

6. ジオパークと教育資源を活用した学びの推進

【現行】幼児教育における四季を通じてジオサイトでの自然学習の取組み。

【改訂案】幼児教育における四季を通じたジオサイトでの自然学習の取組みを**推進する。**

【現行】学校教育における総合学習等でのジオサイトの見学、調べ学習の取組み。

【改訂案】学校教育における総合学習等でのジオサイトの見学、調べ学習の取組みを**推進する。**

▼改訂のポイント～文章表現の変更と文字の追加。

7. 芸術・文化活動の推進 改訂なし

8. 生涯スポーツの推進

【現行】町民がスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツを通じて心身の健康とスポーツの楽しさを体験できる事業の普及・啓発を推進する。

【改訂案】生涯にわたって町民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進を図ることが**できる環境を整え、各種スポーツ事業を推進する。**

▼改訂のポイント～文章表現の変更と文字の追加。

【現行】スポーツを通じた健やかな子どもの成長を促すために、スポーツ少年団活動を支援するとともに、学校部活動の指導者不足を解消するために地域指導者の活用を図り、生涯スポーツの導入段階における年齢層のスポーツ環境整備を推進する。

【改訂案】健やかな子どもの成長を促すために、各種スポーツ教室の実施やスポーツ少年団活動を支援するとともに、学校部活動の指導者不足を解消するために地域指導者の活用を推進する。

▼改訂のポイント～文章表現の変更・削除と文字の追加。

【現行】地域のコミュニティ・スポーツの核となっていた町内10地区のスポーツ振興会は、人口減少に伴い地域格差が生じ、組織の根本的な見直しと新たなスポーツ施策を推進する。

【改訂案】コミュニティ・スポーツの核となっていた町内10地区のスポーツ振興会は人口減少に伴い地域格差が生じていることから、組織の根本的な見直しと新たなスポーツ施策を推進する。

▼改訂のポイント～文章表現の変更・削除と文字の追加。

以上、基本方針の変更しようとする内容の説明を終わります。

【進 行】

○坂下町長 修正案について、ご意見等をお願いいたします。

【質 疑】

○佐々木教育委員 GIGAスクール構想では、セキュリティ管理も課題であり、その適切な対策を推進すると…ありますが、想定される具体的な対策をお知らせください。

【説 明】

○秋山生涯学習課長 一人1台タブレットパソコンが児童生徒に配られ、不測の際には、自宅に持ち帰り学習できるようにします。その際に、有害サイトなどへのアクセスを防ぐためフィルタリング・ソフトを入れて規制したいと思います。そのことを指しての項目として掲載しています。

【質 疑】

○佐々木教育委員 子どもたちがタブレットパソコンを持ち帰って、すべての家庭で利用できる環境は整っていますか。

【説 明】

○秋山生涯学習課長 小・中学校を通じ、各家庭にアンケート調査を実施いたしましたが、おおよそ90%のご家庭については、インターネット環境が整っているという結果でした。なお、環境が整っていないご家庭については、国の補助事業を活用しモバイルルーターを購入しておりますので、それによりインターネット環境を整備し対応いたします。

【質 疑】

○能登教育委員 GIGAスクール構想のことで確認ですが、一人1台パソコンが配置されるということで、配置されるのは小学1年生からでよろしいですか。

【説 明】

- 秋山生涯学習課長 小学校1年生から中学校3年生まで1台ずつ充てることになります。
小学1年生に配布したタブレットパソコンについては、小学6年生まで同じパソコンを使用させていただきます。

【進 行】

- 坂下町長 他に質疑はございませんか。なければ私からひとつ…。長い間、外国に住んでいて様似町に帰国された方の英語力を活かして、学校教育などの場面で活用するようなことは可能か。

【説 明】

- 秋山生涯学習課長 小学校については、学習指導要領の改訂があり小学3年生から英語教育が導入されています。帰国された方々に少しでも協力していただける体制が得られるとすれば、色々と検討できると思いますので、預からせていただきます。

【進 行】

- 坂下町長 分かりました。他に質疑はございませんか。それでは、第2次様似町教育大綱について色々とご協議をいただきましたが、この内容により成案とすることにご異議ございませんか。教育長の方から何かありますか。

- 教育委員 一同、異議なし。

- 荒木教育長 はい。本日、協議をいただいた教育大綱については、この後、社会文教常任委員会の方に報告させていただき、第9次様似町総合計画と併せて4月にスタートさせていただきたいと思います。本日はありがとうございます。

- 坂下町長 今日の総合教育会議は、教育大綱の策定がメインでございますので、内容の精査については、これで終わらせていただきますが、私の方から少しお話をさせていただきます。

今日、皆さまにお認めいただいた教育大綱は5年間の方針であり、それぞれの目標を達成するために様々な事業が展開されます。大綱策定にあたって、この会議の中では、事業に係る経費（予算）のことについては、一切協議しておりません。教育大綱のそれぞれのセクションにおいて掛かる事業費の関係については、第9次様似町総合計画に明記されたいと考えていただきたい。

現在、様似町の人口は昨年12月末で4,125人となっています。この4月からスタートする町の総合計画は10年の策定期間ですが、その10年後、令和12年度の人口推計は3,100人と予測されています。また、24年後2045年の様似町の人口推計は1,839人と予測されています。間違いなく人口が減り続け、先の見通せない中で、5年間の教育大綱10年間の町総合計画を策定しなければなりません。

現在、これから先の財政シミュレーションをしておりますが、限られた予算をどのように活用して行くのかという話に必ずなっております。老朽化が進むスポーツセンターをはじめ公民館、郷土館、図書館といった社会教育施設の維持管理、更新などの問題…。

限られた財源でありますので、今後、町全体としてシビアに整理して行かなければならない時代が必ず来きますので、委員の皆さんにも頭の隅に置いていただきたいと思います。幸い学校教育施設の小・中学校は整っていますので、そこを活用して「生涯教育校」といったもので、当然、児童生徒も学びますし、大人もそこに行って学ぶという発想に立って辛抱しなければならない時代がまいります。万が一そういうことが起きた際には、広い視野でご理解ご協力を賜りたいと思っております。

本日の会議は、これで終わりにさせていただきたいと思います。慎重なご審議をいただきありがとうございました。